Creative Enzymes®

ネイティブバチルス属 サルコシンオキシダーゼ

Cat. No. NATE-0664

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	サルコシンオキシダーゼは、サルコシンの酸化的脱メチル化を触媒し、グリシン、H2O2、5,10-CH2-テトラヒドロ葉酸を生成する酵素（EC 1.5.3.1）であり、この反□にはH4-テトラヒドロ葉酸と酸素が必要です。コリネバクテリウムのサルコシンオキシダーゼはヘテロテトラマーであり、コリネバクテリウム属がサルコシンを炭素とエネルギーの供給源として成長させるときに誘導酵素として生成されます。
用途	サルコシンオキシダーゼは、固定化されるとアンペロメトリックバイオセンサーを構築する多酵素カスケードの一部として研究に使用されました。サルコシンオキシダーゼは、フラボプロテインによるアミンの酸化を調□する研究にも使用されました。
別名	サルコシンオキシダーゼ; EC 1.5.3.1; 9029-22-5; サルコシン:酸素オキシドレダクターゼ(脱メチル化)

製品情報

由来	バチルス属
形態	凍結乾燥粉末; 安定剤は添加されていません
EC番号	EC 1.5.3.1
CAS登□番号	9029-22-5
活性	25-50 ユニット / mg 固体
単位定義	1ユニットは、pH 8.3、37°Cでサルコシンから1分あたり1.0 µmoleのホルムアルデヒドを生成します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C